

小山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英語演習 B	
科目基礎情報							
科目番号	0094		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	講義・演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	機械工学科		対象学年	5			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST 2 4th Edition						
担当教員	吉村 理英						
到達目標							
1.テキストの文法、構文の要点を説明でき、問題を解くことができる。 2.テキストに出てくる語彙や表現を理解し、使用できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	Part1,2,3,4,の英語を聞いて、正しい選択肢を選び、60%以上正解することができる。		Part1,2,3,4,の英語を聞いて、正しい選択肢を選び、30%以上正解することができる。		Part1,2,3,4,の英語を聞いて、正しい選択肢を選ぶことができない。		
評価項目2	Part 5の英文を読んで、正解を選ぶための構文と文法の理解ができる。問題を解いて60%以上正解することができる。		Part 5の英文を読んで、正解を選ぶための構文と文法の理解ができる。問題を解いて30%以上正解することができる。		Part 5の英文を読んで、正解を選ぶための構文と文法の理解ができない。		
評価項目3	Part 6,7の英文を読んで大意を把握し、問題を解いて60%以上正解することができる。		Part 6,7の英文を読んで大意を把握し、問題を解いて30%以上正解することができる。		Part 6,7の英文を読んで大意を把握することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ③ 学習・教育到達度目標 ⑥ JABEE (E)							
教育方法等							
概要	1. 自己の学習をモニター、考察して、各自の進路に必要な目標点数と学習計画を立てる。 2. 4年次のスコアよりもさらなる伸長を目指す。						
授業の進め方・方法	4 年次の英語科目の成績により、受講希望者を レベル別クラスに分けて授業を行う。クラス分けの詳細については、掲示板等を利用して発表する。 各自が到達目標を達成できるよう、事前に予習および復習を自発的に行うことを期待する。 それぞれのクラスで提出課題内容が異なる。						
注意点	・教科書、辞書（電子辞書も可）を忘れずに持参すること。 ・授業での提出課題、自主学習の提出課題を期日までに提出できない場合は、減点をもって対処する。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		授業概説		
		2週	Unit 1 短縮形（1）（2）		Daily Life 品詞の区別		
		3週	Unit 1, 2 破裂音		Places Eメール、カード、告知		
		4週	Unit 2, 3 連結（1）（2）		People 代名詞		
		5週	Unit 3, 4 破裂音（2）（3）		Travel Eメール、Webサイト		
		6週	Unit 4, 5 同化（1）（2）		Business 動詞の形		
		7週	Unit 4, 5, 6 弱音（1）（2）		Office 手紙		
		8週	後期中間試験		応用リスニングテスト有り		
	4thQ	9週	答案返却と解説 音の連結		動詞&時制		
		10週	Unit 6 音の同化		Office 手紙		
		11週	Unit 6 音の短縮		Office 主語と動詞の呼応		
		12週	Unit 7 Unit 7		Technology 語彙・言い換え表現		
		13週	Unit 8 Unit 8		Personnel 手紙・記事		
		14週	Unit 8 Unit 9		Management 接続詞		
		15週	Unit 9 Unit 9		Management 時制		
		16週	後期定期試験		既習内容の確認		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	後3
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	後2
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	後1
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	後4
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	後5
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	後6
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	後7
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握に必要な情報を読み取ることができる。	3	後11
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	後10
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	後12
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	後8
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	後9
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	後13
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	後14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	後12
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	後11
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	後15
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	後14

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0